

## 対話でつなく ほっこり通信

### 人権教育参観日

11月24日(木)に人権教育参観日が行われました。当日は、たくさんの保護者の方に参観していただき、ありがとうございました。この日は、学年ごとに道徳科の授業の中で、人権に関する内容についての授業を行いました。どの学年も、現在の様々な人権上の課題について扱い、生徒たちにとって人権に関して、しっかりと考える機会となりました。

### 2年2組 道徳科授業「左手でつかんだ音楽」

今回の道徳通信では、12月12日(月)に2年2組で山平教諭が実践した「左手でつかんだ音楽」の授業について紹介したいと思います。この教材は、脳出血という病で右手が使えなくなり、左手一本で演奏するピアニストである館野泉さんを扱ったものです。館野さんは、プロのピアニストでありながら、右手が使えなくなるという絶望の中、息子からプレゼントされた左手だけで演奏する楽譜によって、新しい世界が開け、新たな挑戦を始めます。この教材をもとに、夢や希望を実現するために必要なことについて生徒は一生懸命、考えました。

授業では、ポジティブな感情を赤、ネガティブな感情を青で表す心情円という道具を使ったり、館野さんの実際の映像を電子黒板で提示したりすることで、生徒は、主体的に授業に臨んでいました。

#### 授業の感想

- ・館野さんは最初は絶望しかなかったけど、だんだんと希望が見えていることがわかった。
- ・夢や理想を実現するためには努力やポジティブな考えが大事だとわかった。
- ・左手だけの演奏になったとしても、またステージに立つという夢を実現できたのはすごいなと思った。
- ・自分の夢や本当にやりたいことは、あきらめないことが大切だとわかった。
- ・館野さんは、今でも戦っているから、今の自分たちも館野さんみたいに戦いたと思った。
- ・館野さんの生き方を知って、自分も努力を惜しまない人になりたいと思った。
- ・あきらめない気持ちが大事だとわかった。
- ・夢や理想を実現するためには何が大切かを考えるのは難しかった。

